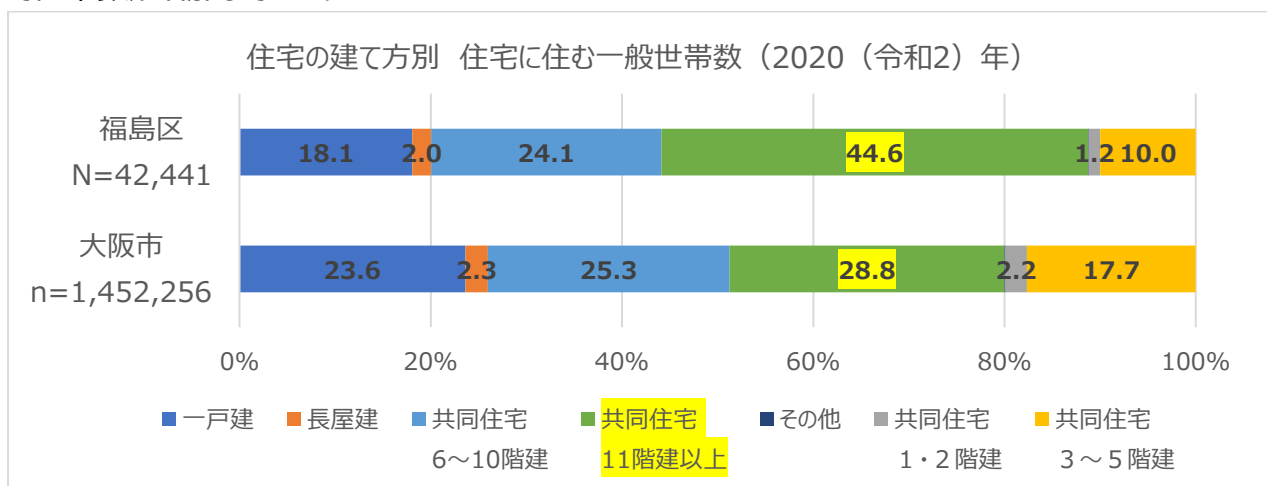


（６）各種調査結果から見る福島区の状況

○国勢調査によるマンションの状況について

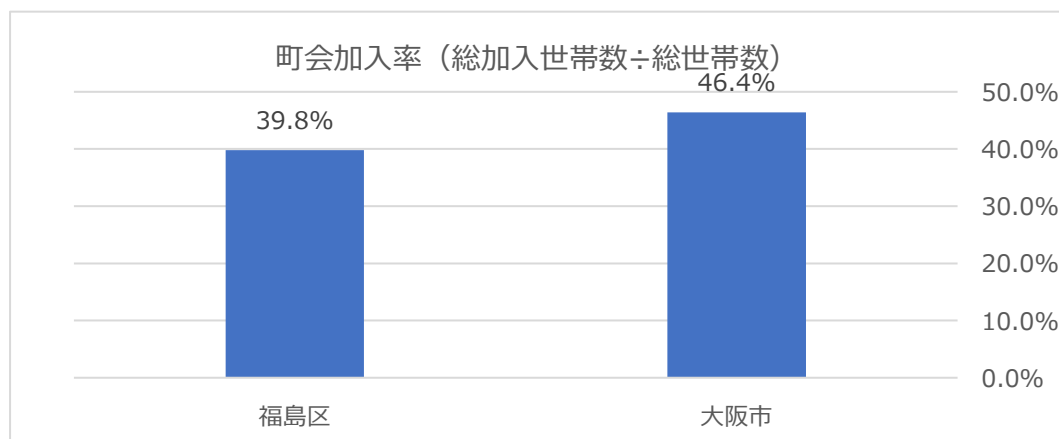
2020（令和2）年の国勢調査結果から、福島区では、11階建て以上の共同住宅（マンション）に住む世帯の割合が大阪市全体より高く、2000（平成12）年から2020（令和2）年にかけて世帯数が増加しています。



住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数									
	総 数	一戸建	長屋建	共 同 住 宅					その他
				総 数	1・2階	3～5階	6～10階	11階以上	
2000年	24,512	6,148	3,387	14,862	982	3,222	4,349	6,309	115
2005年	28,206	6,540	2,851	18,725	920	3,559	5,565	8,681	90
2010年	33,971	6,835	2,285	24,728	762	3,622	20,344		122
2015年	37,112	7,621	1,176	28,231	479	3,859	8,533	15,360	84
2020年	42,441	7,671	841	33,893	501	4,246	10,209	18,937	36

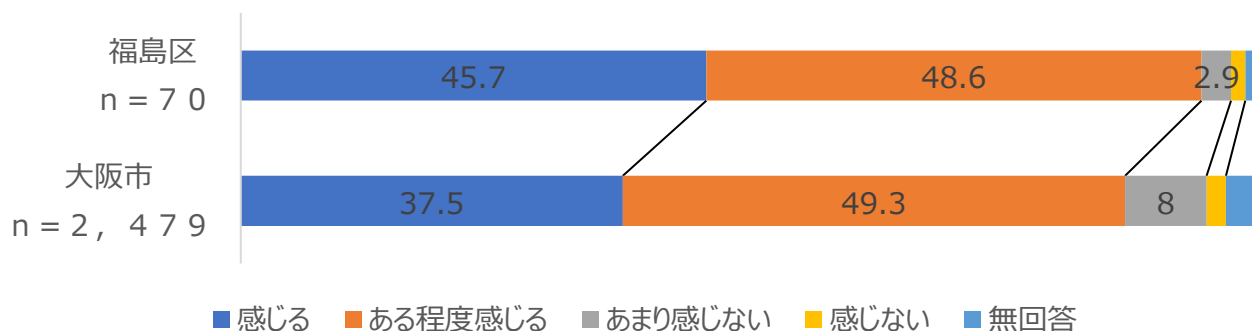
※2010年の国勢調査では、11階建て以上の共同住宅と6～10階は合わせて公表されている。

○大阪市地域振興会組織現況調査（2023（令和5）年4月1日現在）

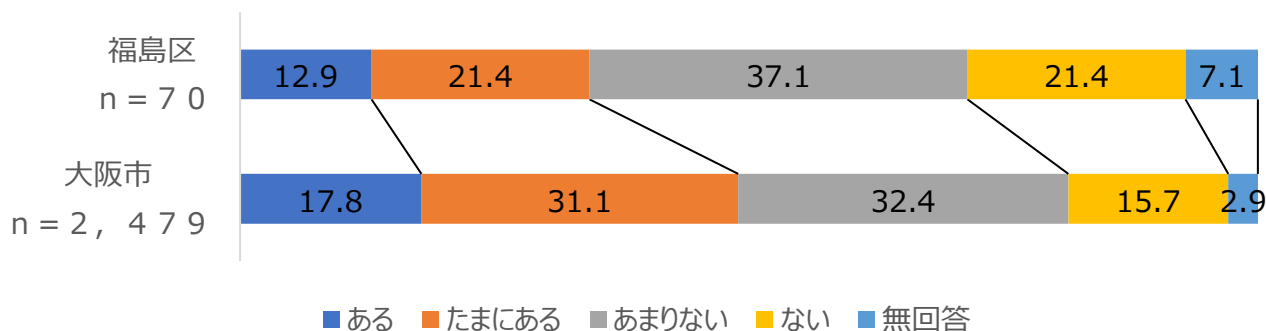


○令和４年度 大阪市における地域福祉にかかる実態調査

質問１：今、お住まいの地域について、「暮らしやすい」と感じていますか。（回答は１つ）

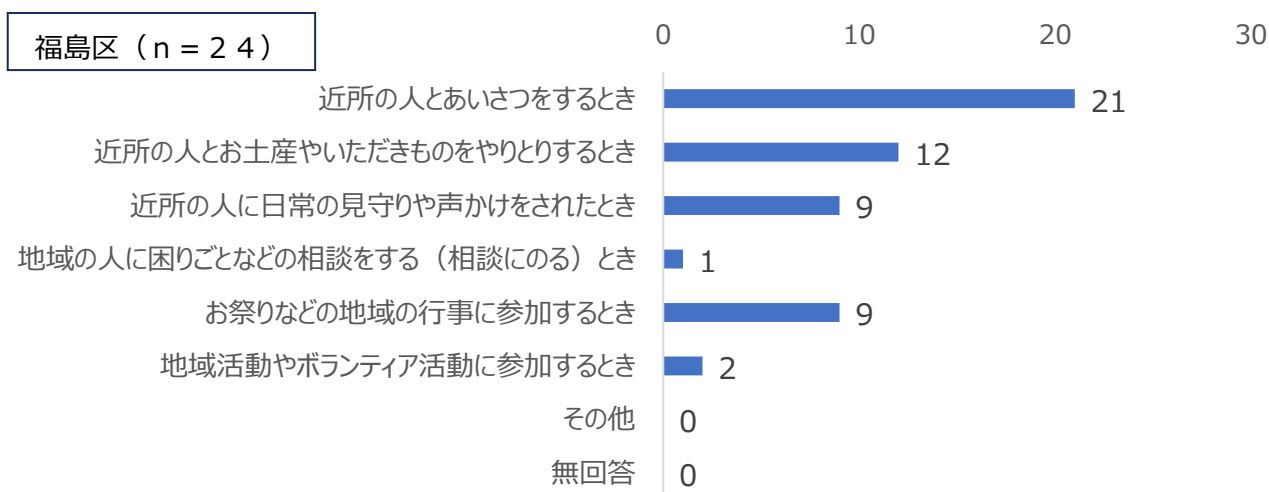


質問２：現在、生活している中で地域との「つながり」を感じることがありますか。（回答は１つ）



質問２－１：地域との「つながり」を感じるのはどのようなときですか。（回答はいくつでも可）

（質問２で「ある」「たまにある」と回答した方への質問）

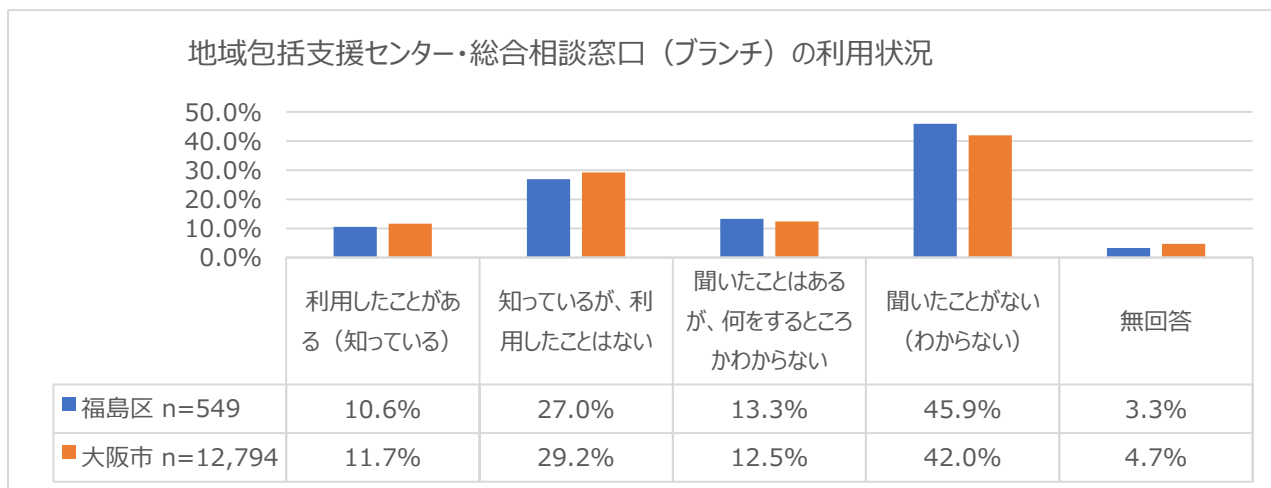


○令和4年度 大阪市高齢者実態調査

＜地域包括支援センター・総合相談窓口（ランチ）の利用状況＞

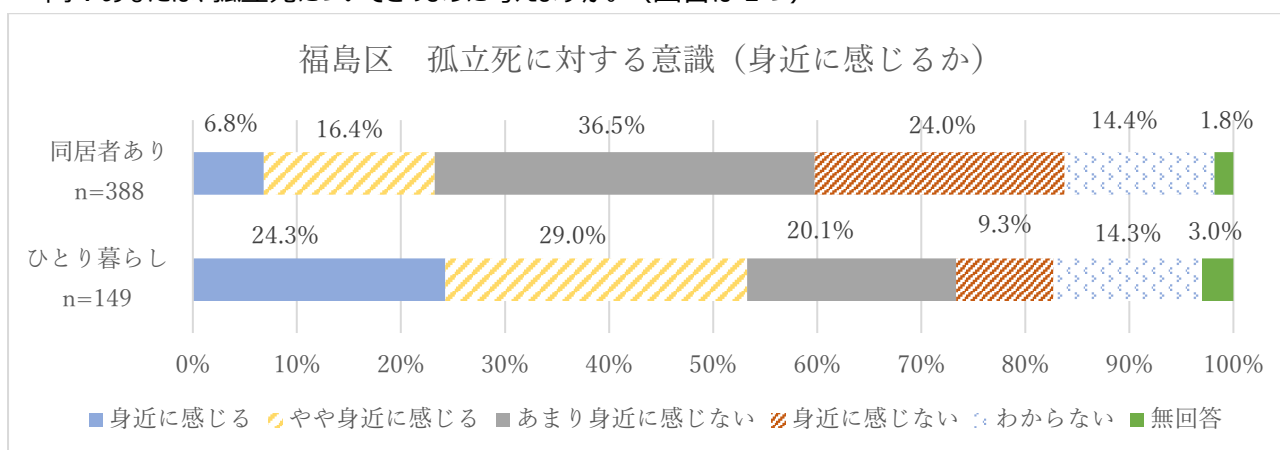
問：あなたは、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）を利用したことがありますか。

（回答は1つ）



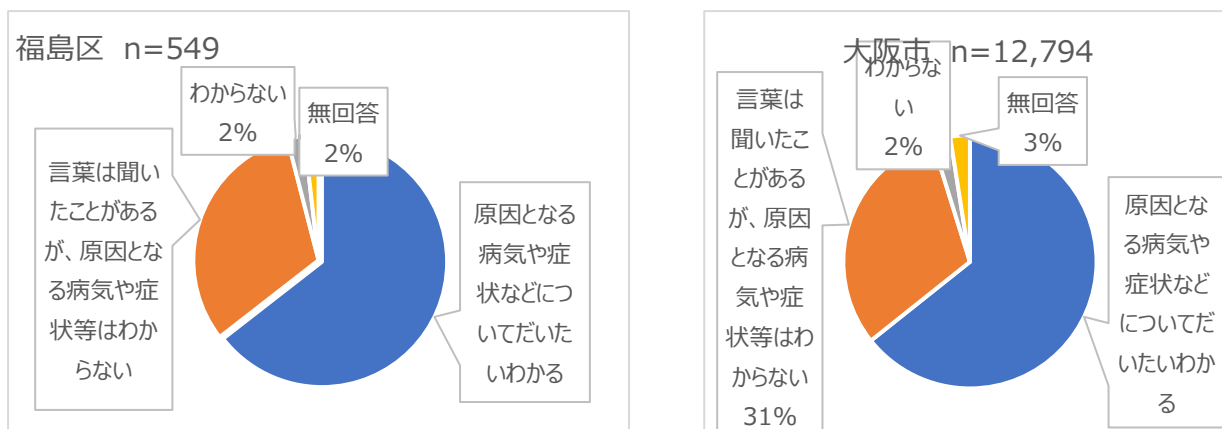
＜孤立死に対する意識＞

問：あなたは、孤立死についてどのように考えますか。（回答は1つ）



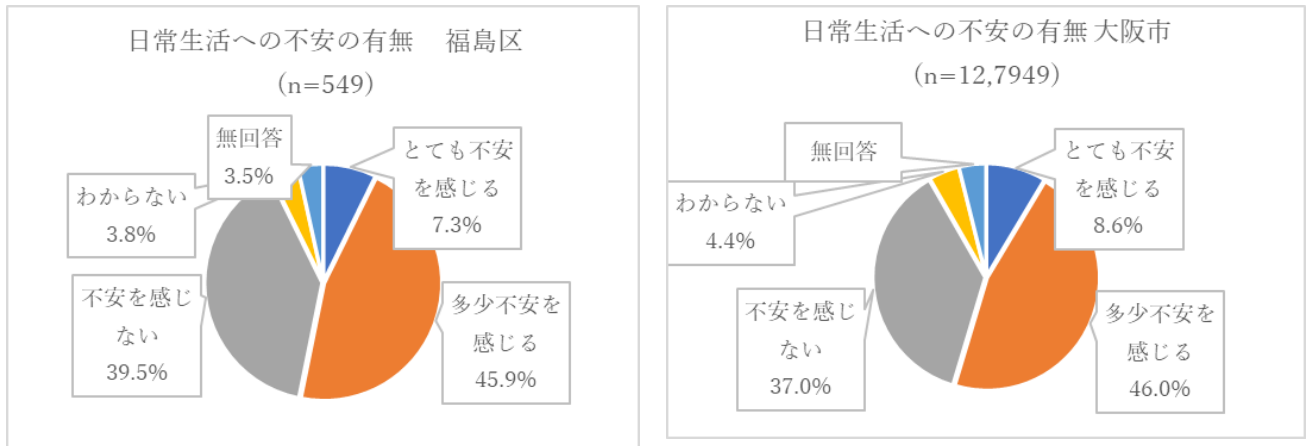
＜認知症の理解度＞

問：あなたは「認知症」という病気を知っていますか。（回答は1つ）



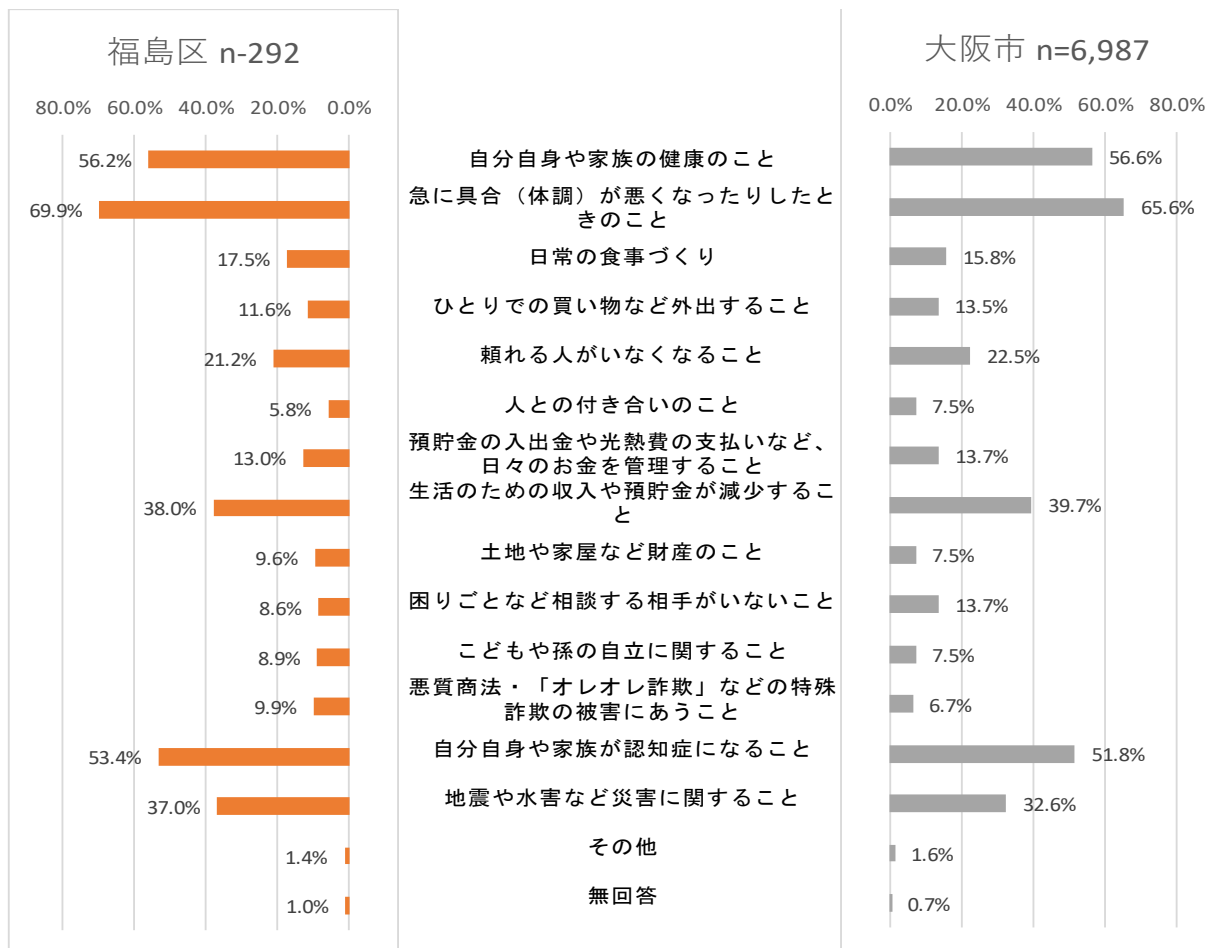
＜日常生活への不安の有無＞

問：あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。



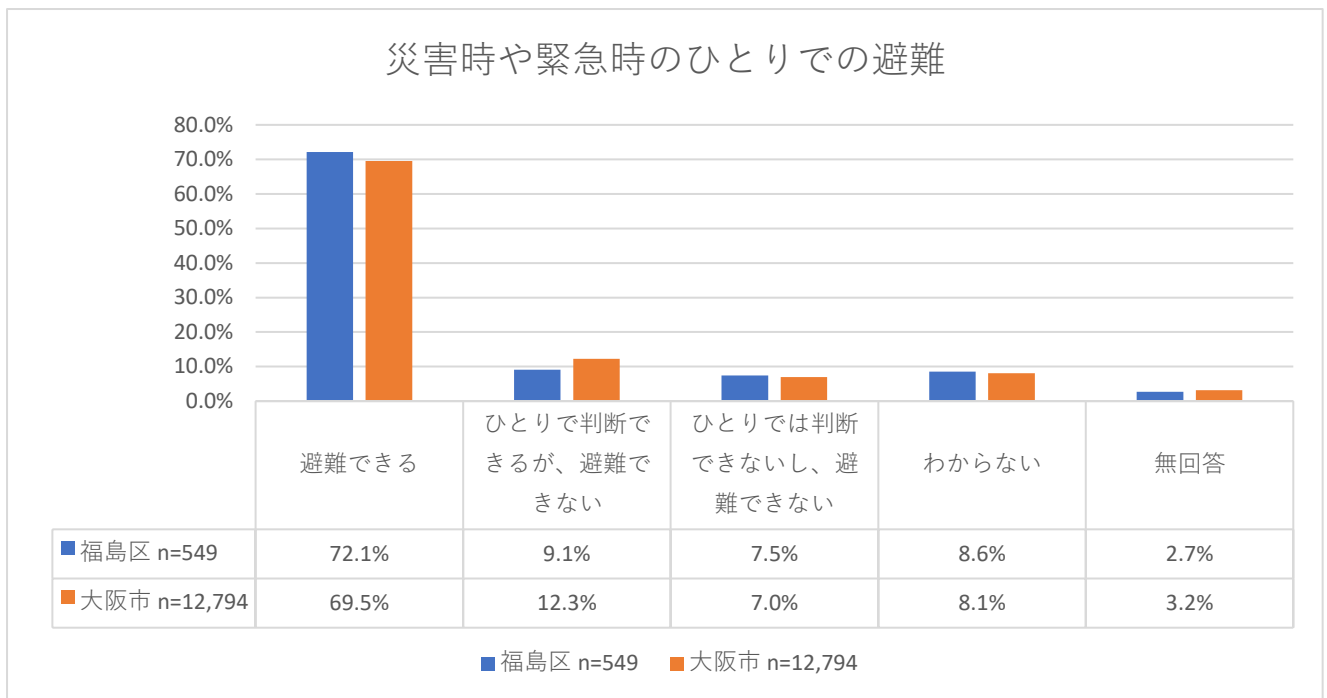
問：前の問に「とても不安を感じる」、「多少不安を感じる」と回答された方におうかがいします。

あなたは、日常生活全般で不安に感じることはどのようなことですか。（回答はいつでも可）

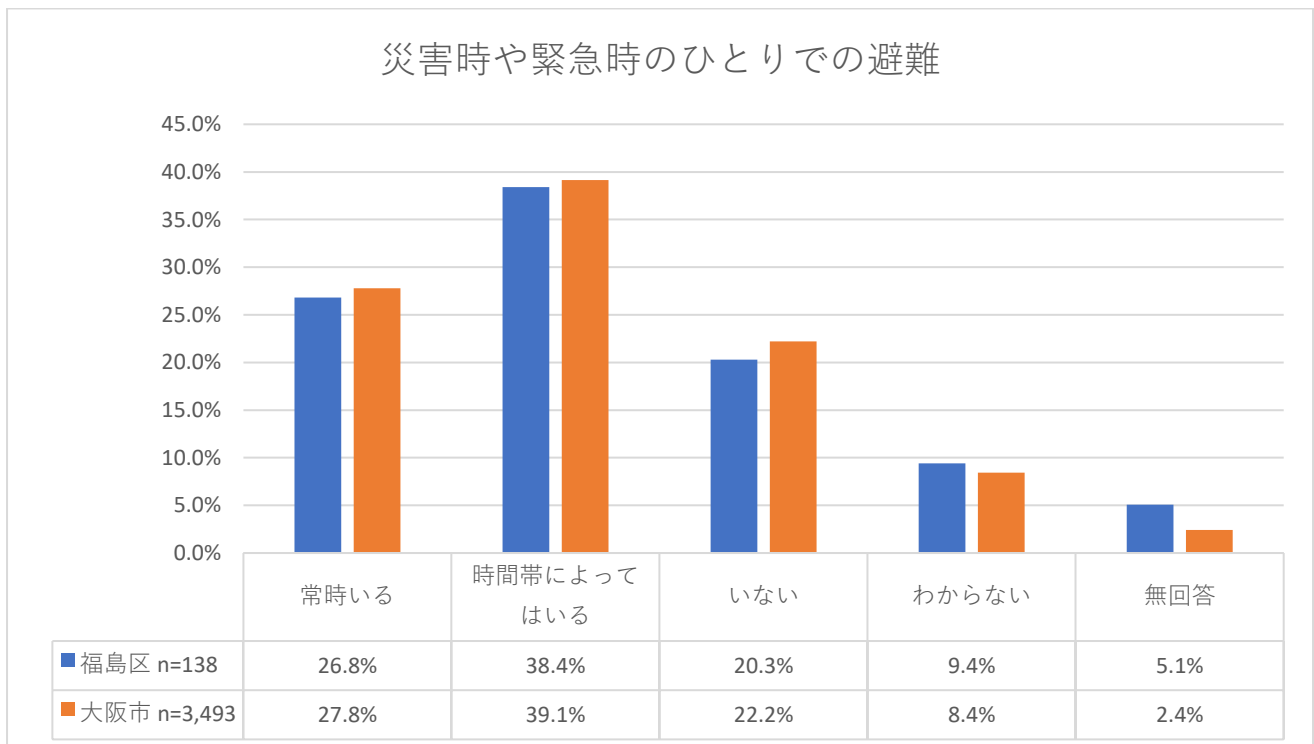


<災害時・緊急時の避難>

問：あなたは、災害時や緊急時にひとりで避難することができますか。（回答は1つ）



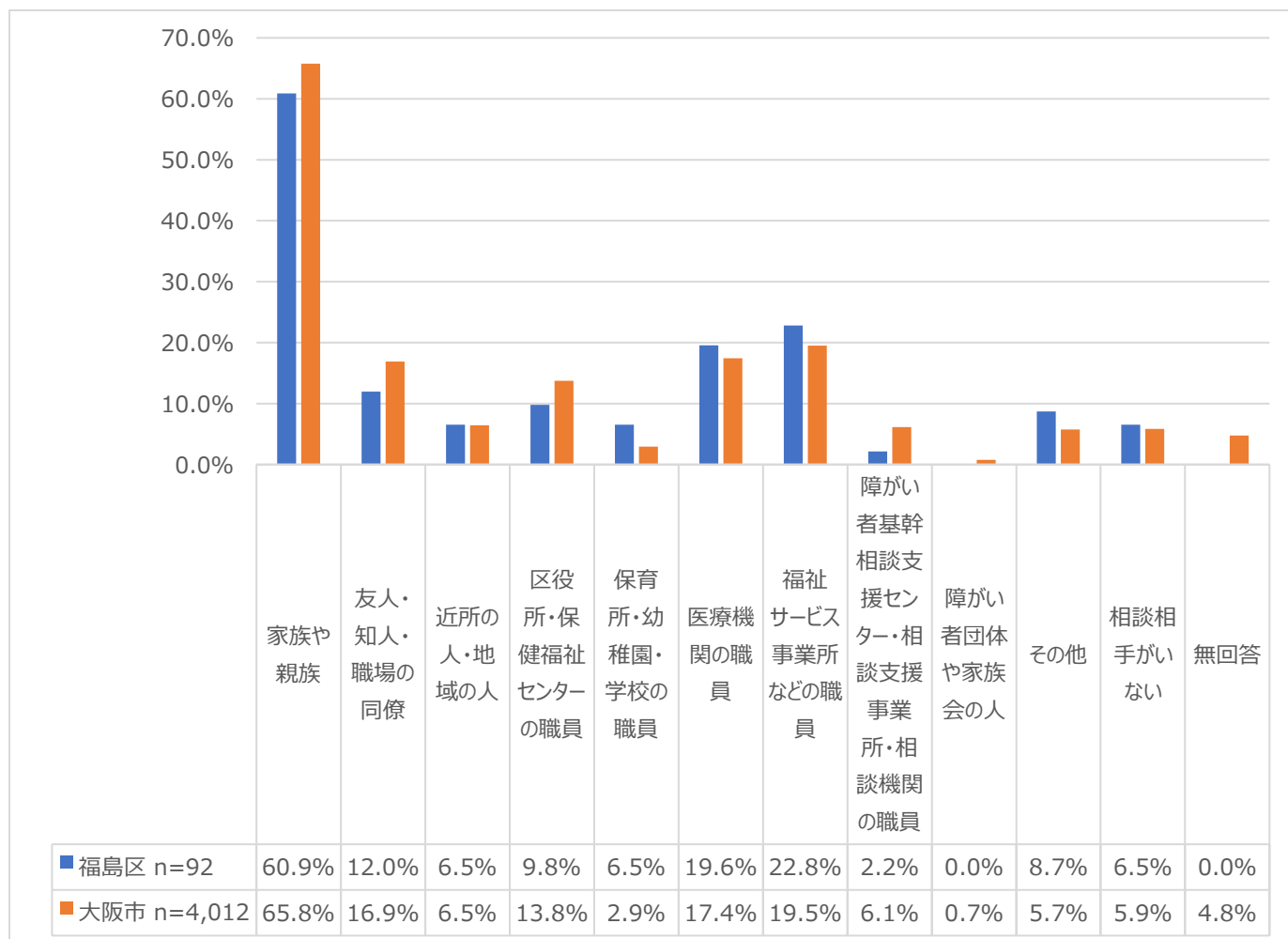
問：「ひとりで判断できるが、避難できない」、「ひとりでは判断できないし、避難できない」、「わからない」と答えた方へ、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。（回答は1つ）



○令和4年度 大阪市障がい者等基礎調査

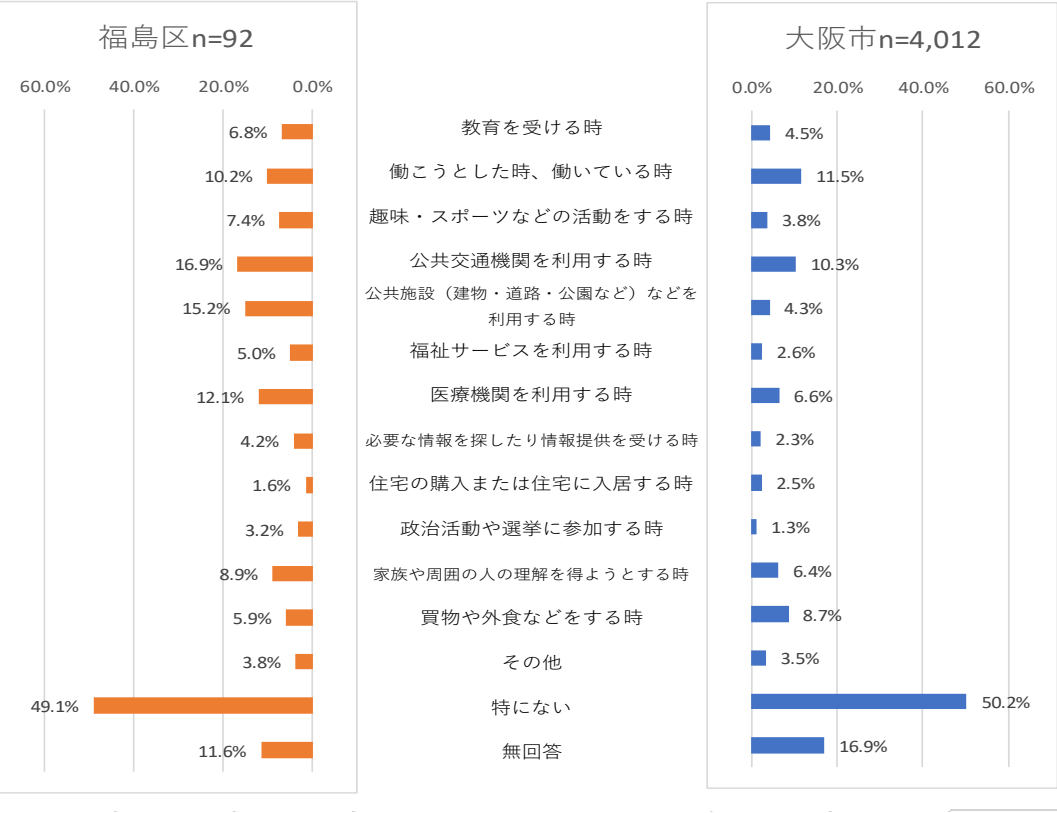
＜普段の相談相手＞

問：あなたは普段、相談している人はどなたですか。



＜障がい理由に不快（差別）や不便さを感じた時＞

問：あなたが障がい理由に不快（差別）や不便さを感じたときはどんな時ですか。

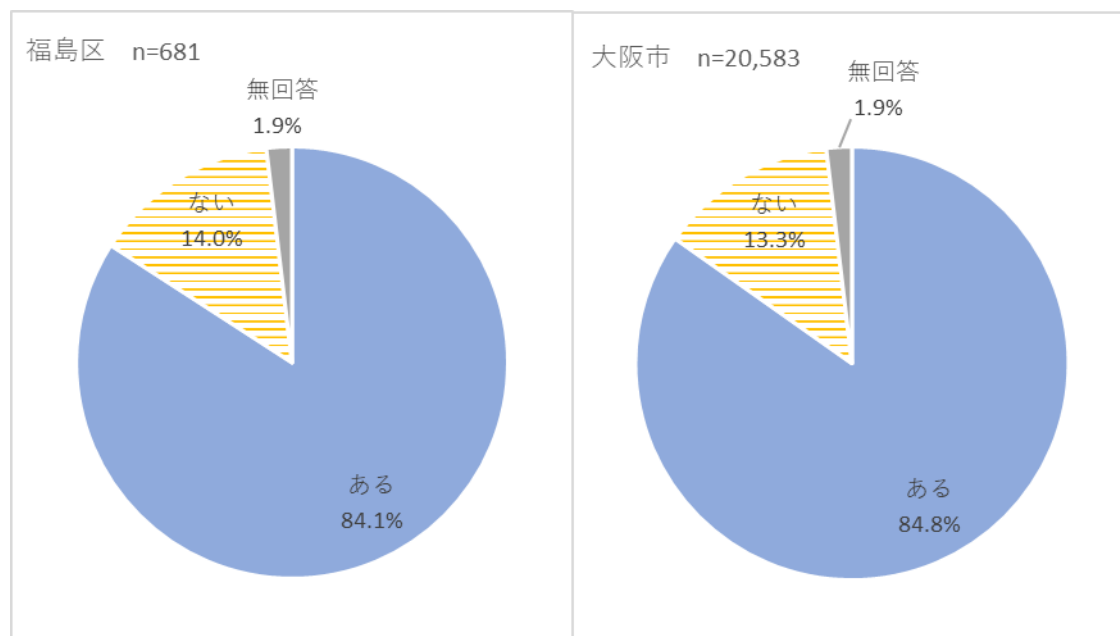


○令和5年度 大阪市こども・子育て支援に関するニーズ等調査結果

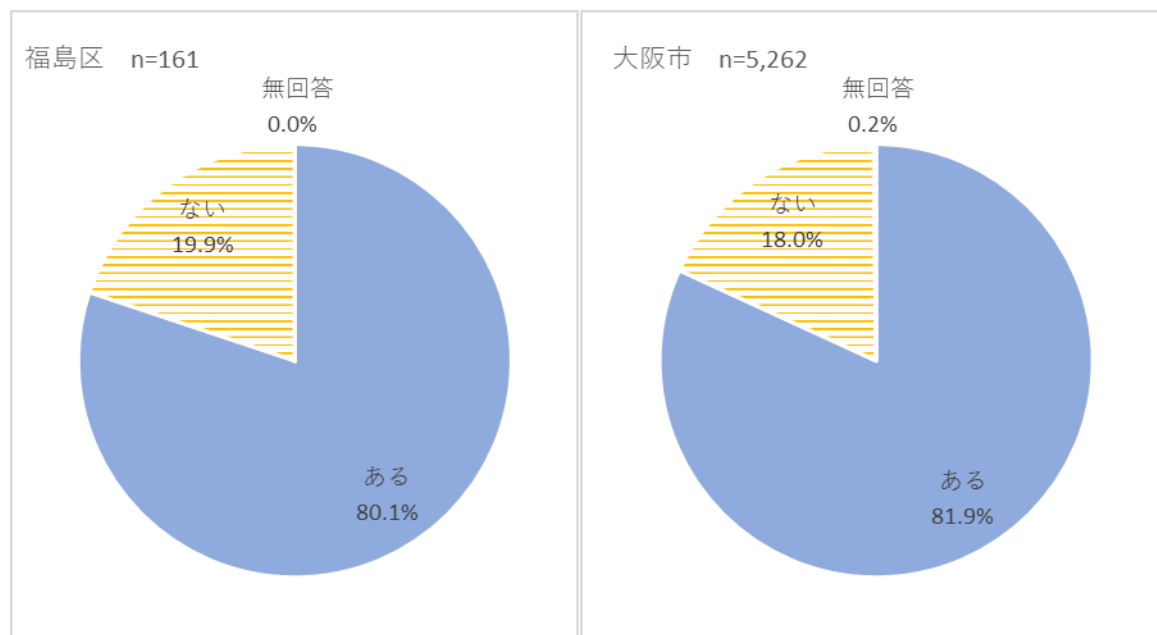
＜子育てや教育について気軽に相談できるところの有無＞

問：お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できるところはありますか。（回答は1つ）

・就学前児童用（市内に在住する0歳から5歳児までの就学前児童の保護者）調査結果

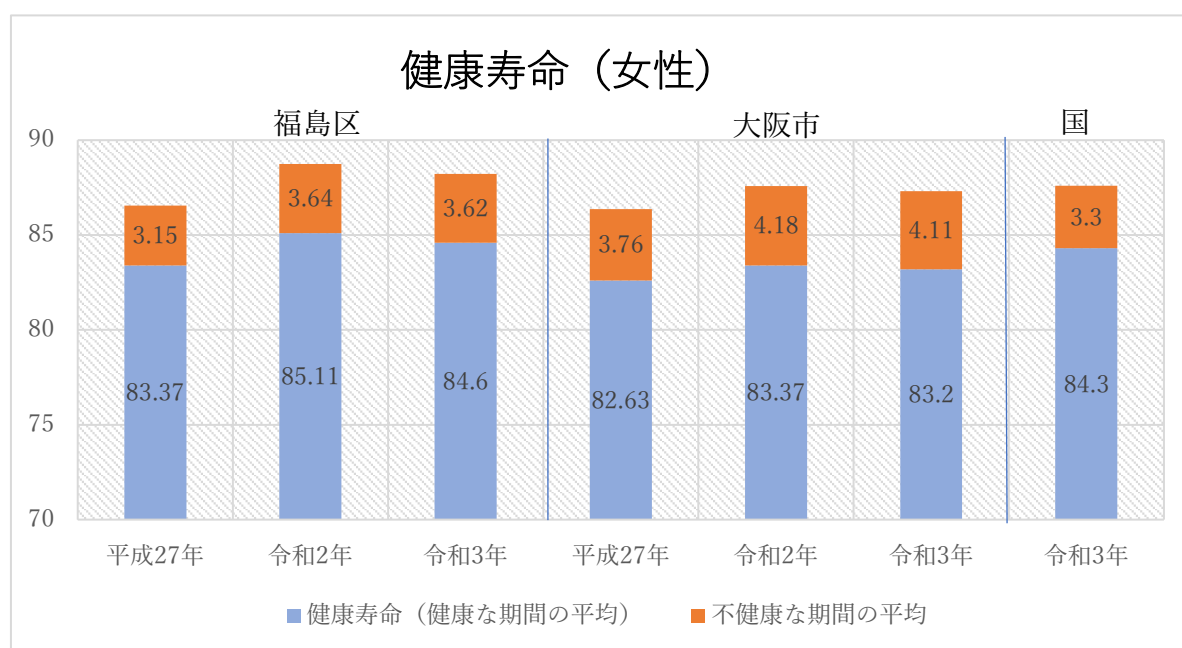
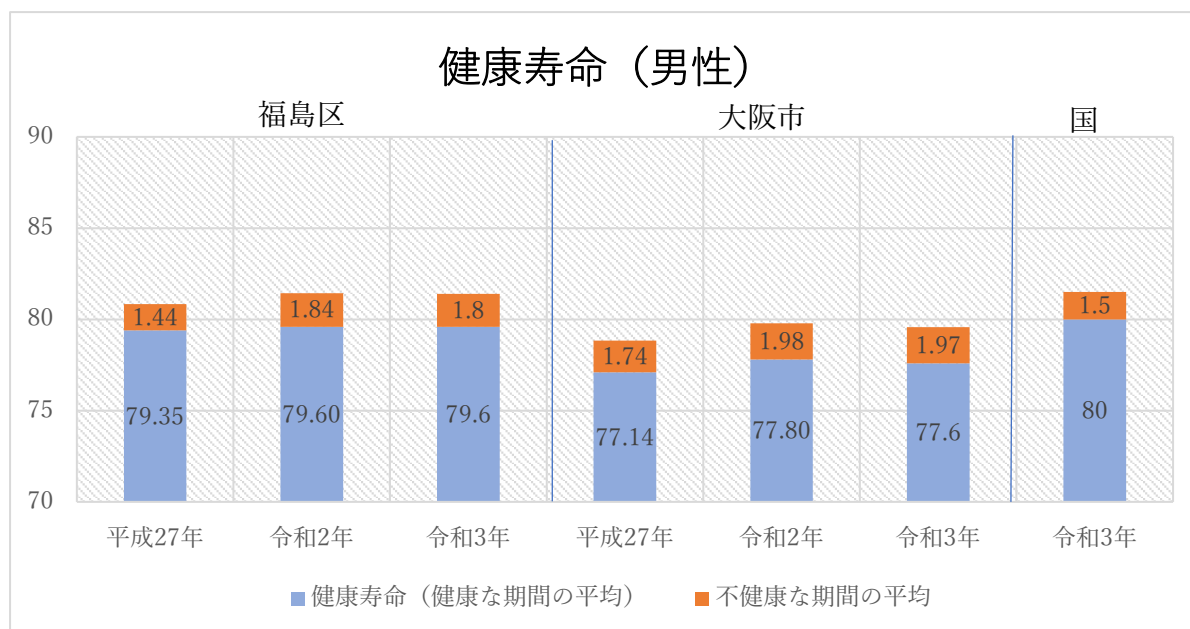


・就学児童用（市内に在住する小学1年生から2年生までの児童の保護者）調査結果



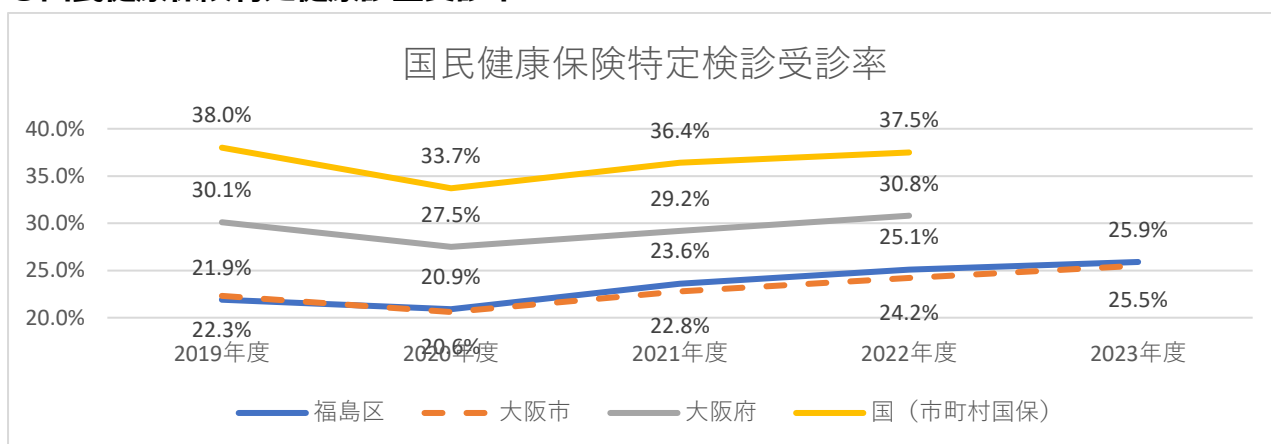
○健康寿命

ここでの健康寿命とは、介護の必要がなく「日常生活動作が自立している期間の平均」をいいます。不健康な期間の平均とは、介護保険の要介護２～５のデータより算出した「日常生活動作が自立していない期間の平均」をいいます。



※出典：2012 年度厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班」による「健康寿命算定プログラム」

○国民健康保険特定健康診査受診率



福島区及び大阪市の 2023 年度受診率は速報値

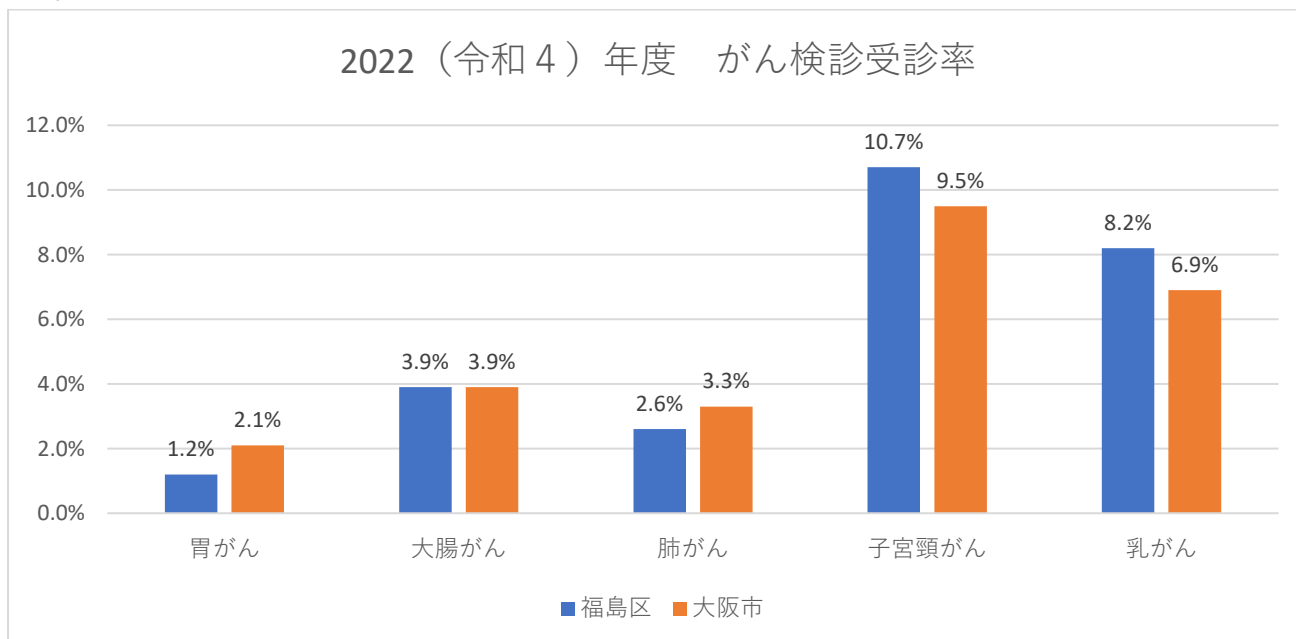
受診者：特定健康診査項目のすべてを実施した者

出典：【区及び大阪市】大阪市国民健康保険特定健診法定報告用データ 【府】国民健康保険中央会「市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況概要報告書」【国】厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関する結果について」

○がん検診受診率

ここで示すがん検診受診率は、全住民のうち大阪市が実施するがん検診を受けた割合を示します。職場でのがん検診や任意の人間ドック等は含みません。

大阪市に比べ、子宮頸がん、乳がん検診の受診率は高く、胃がん、肺がん検診の受診率は低くなっています。



胃がん・子宮頸がん検診受診率 = { (前年度受診者数) + (当該年度受診者数) - (前年当該年度 2 年連続受診者数) } ÷ 対象人口 × 100

大腸がん・肺がん検診受診率 = 当該年度受診者 ÷ 対象人口 × 100

乳がん検診受診率 = { (前年度マンモグラフィ受診者数) + (当該年度マンモグラフィ受診者数) - (前年当該年度 2 年連続マンモグラフィ受診者数) } ÷ 対象人口 × 100

対象人口：（胃がん・大腸がん・肺がん）40 歳以上の全住民（子宮頸がん）20 歳以上の女性住民（乳がん）40 歳以上の女性住民

出典：大阪市健康局調